



III-P-187

5月23日 ポスター会場3 下関市民会館 1F 展示室 13:10~13:40

原因不明の修飾ヘモグロビンのためにHbA1cが異常高値を示した1例

島尻 佳典¹, 與那嶺 正人², 友寄 毅昭², 益崎 裕章², 三家 登喜夫³, 和田 芳直⁴, 古賀 正史⁵

島尻キンザー前クリニック(診療所)¹, 琉球大学内分泌代謝・血液・膠原病内科², 府中病院糖尿病研究所³, 大阪府立母子医療センター研究所⁴, 市立川西病院糖尿病・内分泌内科⁵

【症例】72歳男性。糖尿病精査を希望して2011年7月に当院を受診。OGTTで境界型、GAは16.4%であったが、HbA1c(HPLC法)は7.9%と高値を示し、クロマトグラムに異常ピークを認めた。一方、免疫法、酵素法で測定したHbA1cは各々2.8%、4.0%といずれも低値であった。高分離HPLCにてHbAとHbA1cの間および不安定HbA1 α 近傍の2ヶ所に異常ピークを認めた。しかし、グロビン遺伝子(α 鎖および β 鎖)に異常を認めず、異常ヘモグロビンは否定された。エレクトロスプレーイオン化質量分析およびタンデム質量分析の結果、2つの分画ともに β グロビンの82番目のリジンに88Daの修飾を認めた。【結語】未知の修飾ヘモグロビンのためにHbA1cが異常高値を呈した1例を経験した。我々が調べた限り、これまで同様の報告はなく、HbA1cが高値を示す新たな病型である。

[HbA1c:NGSP値]

I-P-109

5月21日 ポスター会場2 下関市民会館 2F ロビー 18:15~18:45

糖尿病患者会(こがねの会)立ち上げから取り組みまでの内容報告

山里 由香利¹, 又吉 明子¹, 比嘉 さおり¹, 白根 美穂¹, 片岡 恵津子¹, 島尻 公彦¹, 島尻 佳典¹

島尻キンザー前クリニック外来部¹

【目的】患者会立ち上げから取り組みまでの報告。【方法】外来待合室に患者会ポスター掲示。糖尿病教室で入会を促した。患者会は年2回開催。ウォーキングと勉強会を開催した。患者会開始前と1年半後にアンケートを実施。【結果】1)現在の患者会人数が5名。患者会イベント参加率は100%。患者会を知らない64%。2)患者会開始して1年半後のアンケート結果は、1. 患者会の必要5人(100%)、患者会継続意思ある5人(100%)、今後の患者会に期待する事:合併症についての勉強会3人(60%)、糖尿病の勉強会3人(60%)、食事療法の勉強会3人(60%)。【考察】患者会に参加している全員が患者会は必要だと感じており、患者同士の交流や患者と医療スタッフが話し合う場ともなっている。しかしまだ認知度が低い状態にある。今後は患者の意見を反映した運営と患者会の周知を目指していく。